

第57回名古屋矯正管区教誨師研修大会

平成25年6月13日（木）～14日（金）開催

基調講演

演題 「グループの持つ力」

講師 京都橘大学准教授 ジェイムス 朋子 氏

研修会

演習 「グループワーク体験と質疑応答」

講師 京都橘大学准教授 ジェイムス 朋子

記念講演

演題 「生命宇宙と宗教」

講師 映画監督 龍村 仁 氏



成果

今回の研修会のテーマは、現在の矯正行政の流れを理解し、さらにそれを体験することにあった。特にグループワークは、処遇技法として実施しているだけではなく、孤立化する個々をお互いに理解し、繋がっていくための一つの方法として施設で実施しているものである。そこで、本年度は新たな試みとして実践的、体験的、能動的な研修会とするために分科会形式から変更した。



当初は、体験的なグループワークの実施に一部不安の声もあったが、参加した教誨師からは「グループワークは、大変良い経験となった。」と好意的な意見が多く寄せられたことから、研修方法としては適切であり、当初の研修の目的が十分に果たされたものと思料する。

しかし、その一方で、「このグループワークの経験をどのように深めていけばいいのかまでの説明がほしかった。」との意見も寄せられた。

また、記念講演は、参加教誨師からおおむね好評を得られたが、広報不足から一般参加が見られず、たとえ著名な映画監督であっても、広報活動が必要であると分かった。

なお、大会テーマに対しては、「大きすぎる」、「研修内容と一致していない」との意見が見られ、主催者側はテーマに沿っての講演や研修会を企画したが、いまいち理解しにくかったようである。

その他、アンケート結果には「施設職員の負担を減らすべき。」との意見も見られた。

記念講演



グループワーク研修風景

